



食農教育活動



5月から始まった農業体験学習。年4回行われる体験学習も10月7日で最終日を迎え、児童たちは、春に植え付けをしたさつまいもとねぎの収穫体験を行いました。

はじめに、JA女性部員や農業技術センターの職員の方から収穫の方法を教えてください、収穫作業を始めました。今年は野菜の生育が良く、大きいさつまいもが土から出てくると、児童たちは歓声を上げながら作業に取り組んでいました。また、さつまいもはその場で焼いもにして児童たちに振る舞われ、「ほくほくしておいしい」と大好評でした。



↑ねぎもたくさん収穫しました



↑ホクホクの焼いもをがぶり！

収穫作業後の感想発表では「農業の大変さと収穫のうれしさ両方を知ることができました。ごはんも野菜もいっぱい食べます」といった感想が聞かれました。また、佐々木女性部長は「みなさんの笑顔に元気をもらいました。今回の農作業体験を通じて、今まで以上に食べ物を大事にし、たくさん食べて大きく育ててもらいたい」と話しました。

愛情たっぷりの料理を提供

藤里町の文化と収穫を楽しむ、2016町民祭「白神のふるさとまつり」が10月29日と30日の2日間にわたって開催され、多くの来場者で大盛況となりました。

女性部藤里支部では、新米料理の無料配布を行い「枝豆と塩昆布のまぜごはん」220食と「かぼちゃのスープ」300食を来場者に提供しました。美味しい匂いに誘われて、女性部コーナーの前には行列ができ、用意した料理はあっという間になくなりました。



→手際よく作業する女性部員



料理を食べた人からは「寒くなってきたので、あたたかいごはんやスープが出てきて、体の芯からポカポカになりました。また、皆さん笑顔で対応してくれるので、とても気持ち良かったです」と喜んでいました。また、藤里営農センターでは、白神和牛や砂糖などを特価で販売し、女性部と共に町民祭を盛り上げました。